



アートパトロール

Byフルーツバスケット

青木 華

窪田 早姫

佐川 渉

東條 夢

アートパトロールの説明

- 内容 . . . 定期巡回サービス

訪問介護職員や看護師が、定期的に利用者の居宅を巡回して、

入浴・排泄・食事・薬の服薬のチェック・安否確認・自己注

射の見守り・健康チェック など

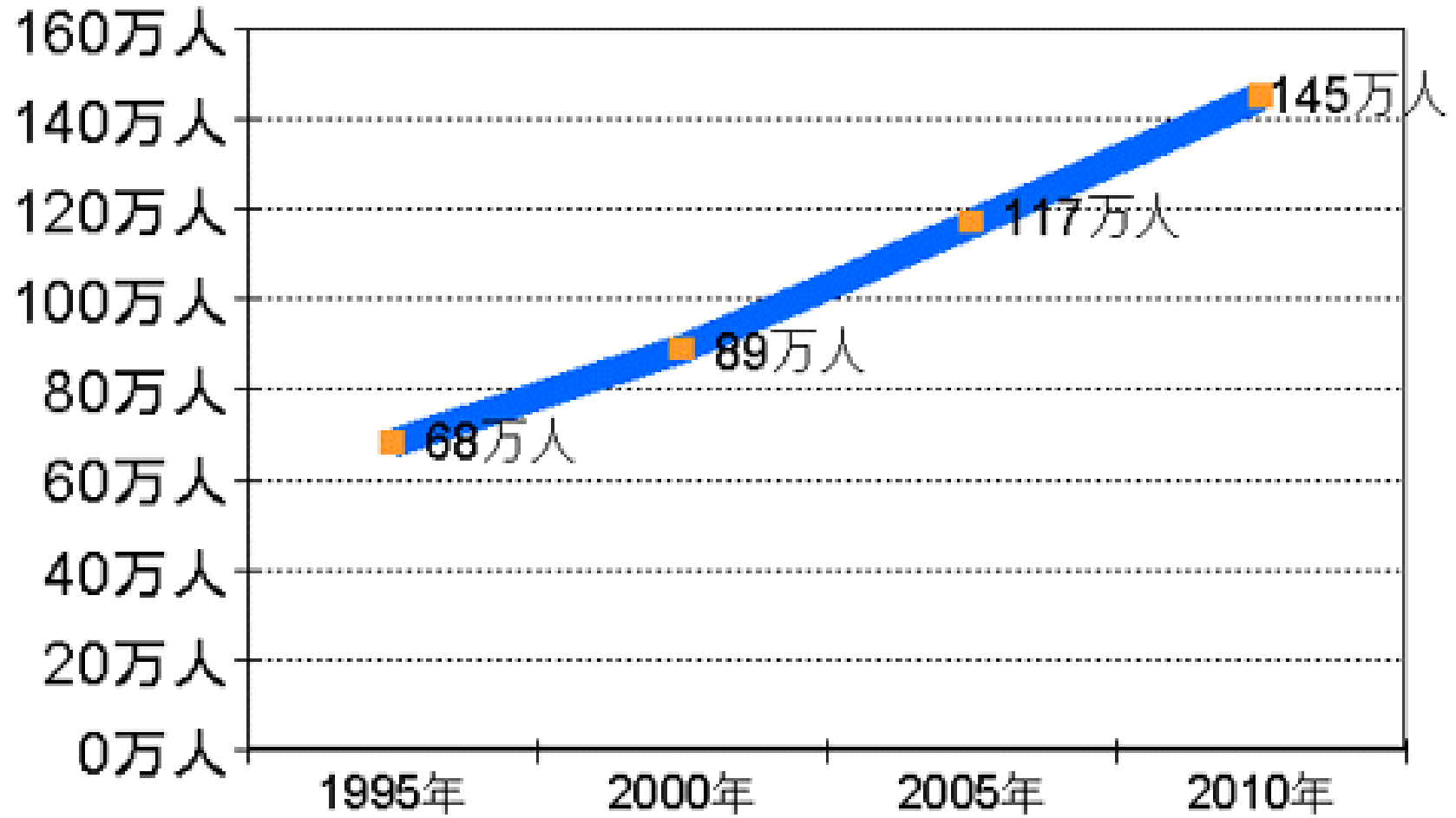
- ターゲットとなる人 . . . 要介護1～5の方、独居の方

なぜ定期巡回サービスなのか

- 高齢化が進み、支え手の減少が懸念されている
- 独居や孤独死の増加
- 在宅生活の継続を支援



埼玉県の高齢者数の推移



アートパトロールのメリット


- 定期巡回サービスから訪問介護に繋がる
- 利用者の入院件数の減少
- 在宅で生活できる時間が長くなる
- 家族の負担が減る
- 孤独死の減少

サービスの事例1 (認知症のAさん)

- 月に1回のケアマネジャーによる訪問において、口頭で服薬確認を行っていたが、認知症は短期間のうちに症状が変化することもあるため、ケアマネジャーの勧めで定期巡回サービスを利用し始めた。1日3回服薬確認のため介護職員が訪問し、確実な服薬で症状が安定した。現在は、生活習慣を整えるため1日2回介護職員による訪問を行っている。Aさんは、もともと小食で栄養面に偏りが生じることもあり、訪問時に喫食状況を確認することで、バランスのとれた食事が摂れるようになっている。

サービスの事例2(退院時の短期利用Bさん)

- 退院を控えて自宅での生活を希望していて、通所介護などを利用したくないという意向を持っていた為、定期巡回サービスを利用することにした。状態観察と服薬確認などのため毎日3回訪問していたが、Bさんから「そんなに来なくていい」と言われた為、朝30分のみとし夕方に状況を連絡してもらうことにした。再度認定調査を行い、要介護2になったことから、併設事業所の訪問介護に変更した。

 既存の訪問介護にシナジー効果が生まれる

アートパトロールのリスク

- 訪問介護と区別がつきにくい
- 看護師の確保
- 巡回サービスの認知が難しい



リスクとの向き合い方

- 従来のサービスに比べ、定期巡回・随時対応型訪問介護看護では、細かな制約に縛られることなく、柔軟に幅広い介護支援が可能となっています。

例 通常の訪問介護では、買い物ひとつでもご利用者様宅から出発しなければいけません。定期巡回ではスタッフが空いている時間に買い物をしておきご自宅に届けるといった事もできるので、2時間等と長い訪問時間を設定する必要がありません

- 訪問看護に比べて看護師の最低人員が少ないので人手が集めやすい
- ケアマネジャーにサービスの宣伝をする

アートパトロールの費用

- 自動車、自転車 : 210万
- 求人広告 : 月7万2000
- ガソリン : 月4万5000
- 人件費(介護士5人、看護師2人) : 月135万

合計 367万7000



アートパトロールの利益について

- 月々のコスト : 139万5000円
- 月々の売り上げ(15人利用) : 22万4300円
- 国からの補助金 : 140万円

毎月の売り上げ22万9300円

* 要介護度1 6800円(4人) 要介護度2 11400円(4人)
要介護度3 18500円(3人) 要介護度4 23000円(3人)
要介護度5 27000円(1人)

目指すところ

アートパトロールから訪問介護、葬儀に繋がり
越谷市で切れ目のないエンディングサポートを
すること

ご清聴ありがとうございました

